

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		男女共同参画の推進		款	3	項	1	目	1	事業	14	整理番号	68				
担当部課名		区民生活部管理課		係名	男女共同・犯罪被害者支援		連絡先電話番号	3756		昨年度整理番号	64						
上位施策No・施策名										69	男女共同参画社会に向けた環境整備		予算事業区分				
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	3	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	4	事業コード	7	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 区民、職員、各主管課				根拠法令等	(1) 男女共同参画社会基本法 (2) 杉並区男女共同参画推進区民懇談会設置要綱										
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○男女平等や男女共同参画についての理解を深めます。 ○男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画を着実に実行します。				活動指標名(式)	(1) 男女共同参画推進区民懇談会の開催数 (2) 啓発品作成数										
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」の策定、推進 ○区民懇談会で男女共同参画についての区民意見集約 ○杉並区行動計画推進状況の調査 ○男女共同参画意識の啓発				成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 審議会等における女性委員の登用数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 啓発品配布数 算定式・指標の説明等										
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %						
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績								
指標	活動指標(1)	①	回	11	8	6	10	7	6	70.0							
	活動指標(2)	②	個	5,000	5,000	4,500	5,000	4,000	5,000	80.0							
	成果指標(1)	③	%	36.6	40.0	35.7	40.0	37.8	40.0	94.5							
	成果指標(2)	④	個	4,080	5,000	4,065	5,000	1,800	5,000	36.0							
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	2,290	2,986	1,914	2,547	1,140	6,083	22年度予算執行率%	44.8						
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成22年度に予定されていた行動計画の策定が延期になったため、執行率が低くなりました。また、企業啓発事業をセミナーの実施から企業向けの情報誌での啓発に切り替えたため経費が低く抑えられました。成果指標(2)は、22年度末に新年度の大学等への配布用としてデパートDVメモ帳を作成、23年度の配布となったため低く抑えられました。							
	(内)委託費	⑦	千円	17	76	61	98	2	4,099								
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.02 0.00	1.00 0.00	1.10 0.00	1.30 0.70	1.00 0.00	1.00 0.00								
	人件費	⑨	千円	18,281	8,879	9,767	11,596	8,920	8,920								
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	2,065	0	0								
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	20,571	11,865	11,681	16,208	10,060	15,003								
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	1,870,091	1,483,125	1,946,833	1,620,800	1,437,143	2,500,500								
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0								
	受益者負担分	⑭	千円	0	0	0	0	0	0								
国からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0									
都からの補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0									
その他の補助金等	⑰	千円	0	0	0	0	0	0									
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑱	千円	0	0	0	0	0	0									
差引:一般財源(⑪-⑱)	⑲	千円	20,571	11,865	11,681	16,208	10,060	15,003									
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 68

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				啓発用品の作成・購入等	
		男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画推進状況調査	1	回	441
		男女共同参画推進懇談会(本会議・推進部会)	7	回	388
		その他 ()			46
	(2) 事業実績	男女共同参画を推進するため、「男女共同参画週間」を周知するため、区役所での展示、中央図書館でも「男女平等推進センター」の蔵書を紹介する展示を行いました。 啓発用品を作成し、若い世代にも周知をおこないました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[その他]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	審議会等における女性委員の登用数 平成4年 25.1% → 平成23年 37.8% 「女性に対する暴力」相談件数 平成14年度 338件 → 平成22年度 367件 DVに関する社会的な関心の高まりなど社会状況の変化しています。相談件数も増えている状況です。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	男女共同参画は、簡単には進まないが、繰り返しPRをしていくことが必要であり、真の男女共同参画を目指すため、区役所が見本になってほしいという意見が多くなっています。
	今後の予測	不安定な経済状況を反映して、共働き世帯が増えています。女性も男性もさまざまな事情を抱える中、仕事と家庭の両立を促進させる支援策がさらに求められることが予想されます。
	評価と課題	区役所のロビー展示や啓発用品の作成など、男女共同参画やDV防止について、区民、若い世代へのPRを実施することに努めます。

今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
	II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
<p>「男女共同参画社会をめざす杉並区行動計画」を改定をする予定でしたが、基本構想の策定にあわせて、改定をおこなうことになりました。23年度は、区民の意識調査を実施し、「男女共同参画社会をめざす杉並行動計画」に反映させていただきます。</p>		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		男女平等推進センターの運営		款	3	項	1	目	1	事業	15	整理番号	69						
担当部課名		区民生活部管理課		係名	男女共同・犯罪被害者支援		連絡先電話番号	3756		昨年度整理番号	65								
上位施策No・施策名		69 男女共同参画社会に向けた環境整備		予算事業区分								既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	9	年度	<input checked="" type="checkbox"/>	実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	4	事業コード	7	<input type="checkbox"/>	行革計画事業	<input type="checkbox"/>	主要事業
	対象	<input checked="" type="checkbox"/>	個人	<input type="checkbox"/>	世帯	<input checked="" type="checkbox"/>	団体	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>	内部管理	根拠法令等	(1) 杉並区立男女平等推進センター条例 (2) 杉並区立男女平等推進センター登録団体使用取扱要綱						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○男女共同参画社会づくりに関する情報等の提供や、講座等の開催により、意識啓発を図ります。 ○女性団体等が講座等の企画運営に携わることにより、積極的な地域活動や団体育成を促進します。 ○女性相談者に対して、問題解決のための適切な指導・助言を行い、快適な生活を送るための手助けをしていきます。										活動指標名(式)	(1) 講座の開催回数 (2) 女性相談の日数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○男女共同参画社会をめざすことを目的とした啓発講座等の開催 ○男女共同参画に関する情報の収集・発信、区内の女性団体等の育成・交流の支援 ○女性の悩みごとに関する相談の実施 ○男女平等推進センターの維持管理										成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 区民向け啓発講座受講者の延べ人数 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 配偶者等からの暴力についての相談件数 算定式・指標の説明等						
区分		単位	20年度		21年度		22年度			23年度	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %								
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画											
指標	活動指標(1)	①	回	9	15	10	15	10	15	66.7									
	活動指標(2)	②	日	305	305	306	305	305	306	100.0									
	成果指標(1)	③	人	321	300	296	300	287	300	95.7									
	成果指標(2)	④	件	355	250	367	350	302	350	86.3									
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	23,809	23,115	19,566	21,602	20,213	21,262	22年度予算執行率%	93.6								
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0				特記事項									
	(内)委託費	⑦	千円	20,598	18,306	16,637	17,375	16,980	17,395										
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	1.04 0.00	1.00 0.00	1.09 0.00	0.60 0.40	1.00 0.50	1.00 0.50										
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	9,412	8,879	9,678	5,352	8,920	8,920									
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	1,180	1,475	1,475									
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	33,221	31,994	29,244	28,134	30,608	31,657										
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	3,691,222	2,132,933	2,924,400	1,875,600	3,060,800	2,110,467										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0												
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0												
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0													
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0													
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0										
差引:一般財源⑪-⑰		⑱	千円	33,221	31,994	29,244	28,134	30,608	31,657										
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0											

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 69

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				相談業務委託	305
		施設保守管理委託	305	日	5,812
		光熱水費			667
		講座の開催	5	講座	1,012
		その他 ()			2,722
	(2) 事業実績	区内で活躍する団体に区民向け啓発講座の企画・運営を委託し、5テーマ、10回実施しました。委託講座は、区民の男女共同参画意識向上のみならず、企画・運営を委託することにより団体を育成するという意味もあります。相談業務は、土・日・祝日も実施しており、不安を抱える女性たちの身近な相談窓口となっています。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 協働[委託]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	審議会等における女性委員の登用数 平成4年 25.1%→平成23年 37.8% 配偶者等からの暴力についての相談件数 平成14年度 212件→平成22年度 302件 DVに関する社会的な関心の高まりなど社会状況の変化が、被害者の顕在化として相談件数に反映しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	人気のセンター講座には、継続して実施して欲しい等さらなる期待が集まっています。
	今後の予測	社会情勢を反映して、子育てとの両立支援などをテーマとした講座に関心が寄せられることと思われます。また、東日本大震災を起因とした相談が増えることが予想されます。
	評価と課題	講座に対する受講者の満足度は高いが、講座により受講者数にばらつきがあり、集客が課題となっています。また、相談業務に関しては、さまざまな資格を持つ経験豊富な相談員による相談を行っており、相談者の満足度は高くなっています。男女平等推進センターの知名度が低いいため、PRに努めます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
		男女平等推進センター講座に関しては、人気の高い講座はさらに内容を充実させ、受講者の少ない講座は区民の興味をひくような内容となるよう企画団体と協力して行います。児童青少年センターとの併合施設であるという特長を活かし、若いうちから男女共同参画に関心を持てるよう児童青少年センター利用の若者を視野に入れたPRに努めます。	

特記事項	
------	--